

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立西米良中学校（宮崎県）

【取組内容①】 学校と家庭をつなぐコネクト学習の学びを活かした授業づくり

1人1台端末（持ち帰り端末）を効果的に活用したコネクト学習により学校と家庭をつなぎ、確実に学んだことを定着させ、児童生徒が主体的・協働的に学び合うことができる授業

コネクト学習の概要

| | スタンダード | 復習型 | 学習の個性化 | 活用型 |
|----------|--------------------------------------|------------------------------------------------|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 「問いをつかむ」から「振り返る」まで、全段階を通す標準的な授業スタイル。 | 学校でスタンダードの授業の流れを行い、家庭で自分の力に合わせた「確かめる」学習を充実させる。 | 家庭で考えをもたせることで導入の時間を短縮し、協働作業・協働解決・確かめる時間を確保する。 | 単元全体を通して、本時での振り返りを主としながら、各自でテーマを設定し、家庭で情報収集や整理分析、まとめを行い、単元末に全体で共有する。 |
| 家庭 | | | 自分の考えをもつ | |
| 学校（単位時間） | 問いをつかむ | 問いをつかむ | 問いを解決する | 学校 ・本時の振り返り ・単元を通しての学び ⇒ 新たな疑問、興味関心等 課題設定 情報収集 整理分析 家庭 ・本時の学びを通して、各自でテーマを設定し、まとめる。 ⇒ 他者参照・他者共有により、テーマや内容を深め上げる。 |
| | 考えをもつ | 考えをもつ | まとめる | |
| | 問いを解決する | 問いを解決する | 確かめる | |
| | まとめる | まとめる | 振り返る | |
| | 確かめる | 確かめる | 問いをつかむ | 学びをつなぎ、広げ、深める（学びの個性化） 学校 まとめた内容の共有・一般化 |
| 家庭 | | | 確かめる、習熟する | |

学習の個性化

自分の考えをもつ

問いを解決する

まとめる

確かめる

振り返る

問いをつかむ

指導の個別化

協働的な学びや習熟・発展の時間の充実

主体的な学びや確かめの充実

興味関心、自己表現・学習の深化の充実

鑑賞「ブルタバ」スメタナ作曲（中学3年）

【問いをつかむ段階】

各自に割り当てられた課題を家庭で情報収集し、スライドにまとめてくる。（コネクト学習予習型）

課題A：作曲当時のチェコを取り巻く社会情勢
課題B：「わが祖国」に込めた思い

学びの充実

【考えをもつ・問いを解決する段階】



家庭で調べまとめたスライドを活用することで、個別に行う聴き取り活動も充実していた。まとめた意見を共有シートで全体共有し、意見交換したことで、深まりのある学習になった。

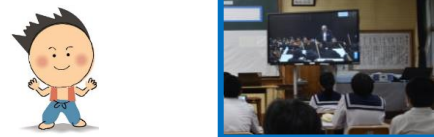


※まとめてきたスライド

～「わが祖国」に込めた思い～
 チェコ語で「ウルタヴァ」 ドイツ語で「モルダウ」
 スメタナが交響曲「我が祖国」の作曲を始めた1874年
 ⇒当時のチェコは、オーストリア帝国の支配下
 ×チェコ語で曲名を付ける×
 水の流れを表すだけじゃない!? スメタナのチェコへの愛!!
 この曲は短調で始まっている
 2つの水車の「川」が合流して「河」になる
 ⇒長調で華やかなメロディー
 これは、チェコ民族の独立と断崖を表していると言われている。
 今は罪の無い状況にあっても、いつかは必ず覆れて明るい未来がやってくる、という長調のメロディーをスメタナが「モルダウ」に込めた。この作品は、他国に支配されているチェコの人々に明るい未来を祈り、その思いを託した曲でできない川の流れで表現されている。

【まとめる・確かめる・振り返る段階】

先生の話聞き、全体でオーケストラ演奏のライブ感を味わわせることで、より深い理解と感動につながった。



| | (1) 「ブルタバ」の主題の変化 | (2) スメタナはどのような思いを込めたのか |
|----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 前半：すこし遅い！リズム感があまりない！少し暗いイメージ 後半：前半よりも明るく、テンポが速い！リズムカル！豪華な感じ | 曲の中で、前半の部分は、昔（作曲当時）のチェコの雰囲気やチェコの不自由さを表されていて、後半の部分は、チェコの最近の様子をスメタナはイメージして作ったと考えます。スメタナは、「現在のチェコ国民が幸せで、みんな平等な未来になってほしい」という思いを込めたかったのだと読み取りました。 | |
| 前半は短調で、後半よりも楽器が少ない気がした。強弱が激しい。後半は長調で楽器がたくさん使われている気がした。 | 苦しい状況でも必ず明るい未来はあるという気持ち。 | |

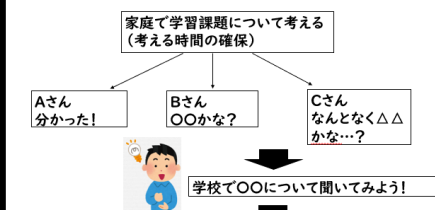
※共有シートの一部

コネクト学習のねらい

【1人1台端末（持ち帰り端末）の効果的活用】

- ① 学びに連続性をもたせる
- ② 時間を効率的に使う
- ③ 主体性を高め、確実な学びにつなげる

コネクト学習：予習型（家庭から学校に学習をつなぐ）



対話的な活動や習熟・発展の時間の充実